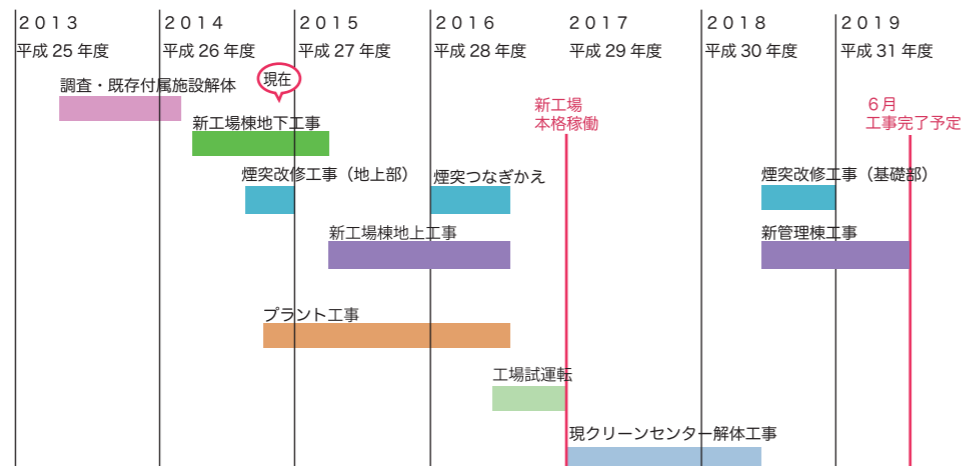
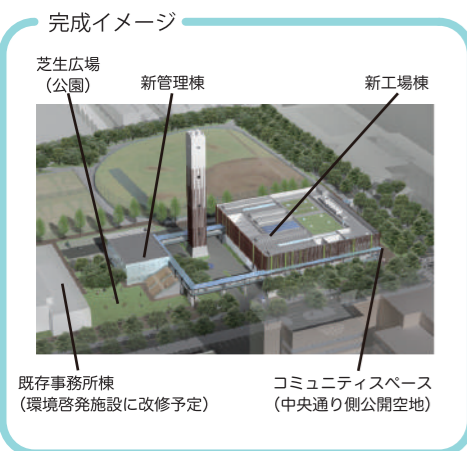


今後の工事予定 平成 29 年 4 月新工場棟の本格稼働開始、平成 31 年 6 月に現工場の解体を含む全ての工事が完了する予定です。



### 周辺住民の方々と話し合いを進めています



平成 22 年 3 月に設置された新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会には、クリーンセンター周辺の住民団体の代表者の方々と学識経験者、行政が委員として参加し、新しいクリーンセンターの設備やデザインの方針などについて話し合いをしてきました。今後は、クリーンセンター周辺のまちづくりなどについて話し合う予定です。

武蔵野市ホームページで協議会の議事録を公開しています  
<http://www.city.musashino.lg.jp/shingikai/shingikaiigiroku/16114/index.html>

### 新クリーンセンターの概要

- 事業名：新武蔵野クリーンセンター（仮称）整備運営事業
- 入札方法：総合評価一般競争入札
- 事業方式：DBO方式（設計＋建設＋運営20年間の包括）
- 建設期間：平成 25 年 7 月～平成 31 年 6 月
- 焼却施設：全連続ストーク式 120 t/日（60 t/2 炉）  
\*不燃・粗大ごみ処理施設併設 破碎・選別式 10 t/5 h

- 余熱利用方式：ごみ発電＋近隣公共施設への電力・蒸気利用
- 発電設備概要：【ごみ発電】抽気復水タービン 最大出力 2650 kW  
【ガス・コージェネ】ガスタービン 最大出力 1500 kW
- 年間計画発電量：約 15,000 (MWh) \*基準ごみ時
- 計画エネ効率：【発電効率】20.5%
- 建設事業者：【代表企業】荏原環境プラント(株)【構成企業】鹿島建設(株)
- 運営事業者：(株)むさしのEサービス(特別目的会社)\*代表企業 100%出資
- 建設工事監理：(株)日建設計

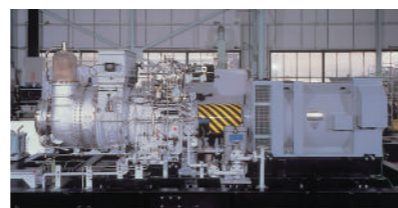
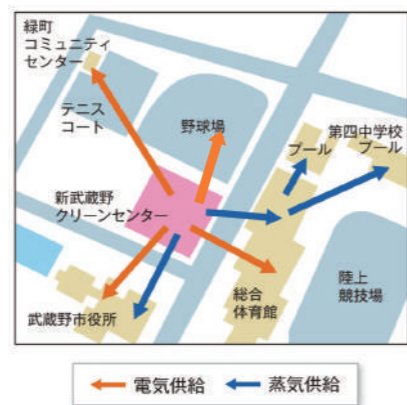
### いつでもだれでも、自由に工場見学！



見学者コースイメージ

新工場棟の2階を一周することで、ごみ処理の流れがわかります。ショーウィンドウのような大きなガラス窓の向こう側にダイナミックな工場の機械を望むことができます。

### ごみで発電 ⚡ 周辺の公共施設にもエネルギーを供給します！



ガスコージェネレーション設備イメージ

現在のクリーンセンターはごみを燃やした熱を蒸気で市役所や総合体育館、第四中学校プールに送り、給湯や冷暖房、温水プールの熱源に活用しています。新施設ではさらに、ごみ発電設備も導入し、発電した電気をクリーンセンターで利用するほか、市役所や総合体育館、緑町コミュニティセンターにも供給することができるようになります。また、ガスコージェネレーションシステムも導入するため、災害時においても発電し、エネルギー供給することができます。

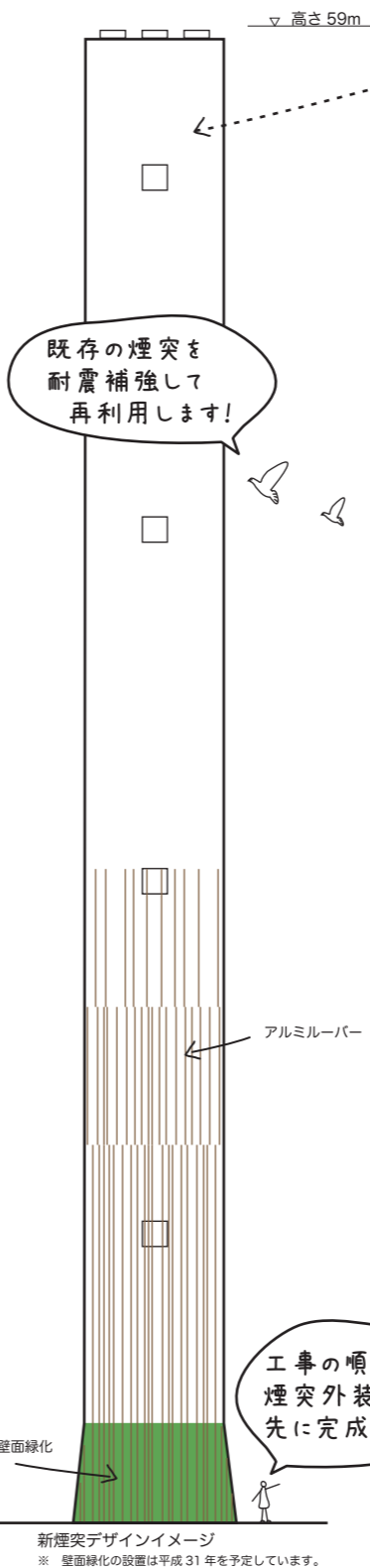
## 平成 29 年 4 月稼働予定「新武蔵野クリーンセンター（仮称）」建設事業の今をお知らせ！

# 新クリーンセンターニュース

平成 27 年 3 月発行 武蔵野市環境部クリーンセンター 武蔵野市緑町 3-1-5 0422-54-1221

VOL.1

平成 27 年 3 月  
煙突のデザインが  
変わります！



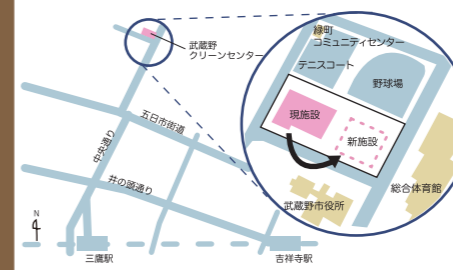
工事の順番から、煙突外装のみ先に完成します。

新煙突デザインイメージ  
※ 壁面緑化の設置は平成 31 年を予定しています。

### 新クリーンセンター建設について



新クリーンセンター完成イメージ



武蔵野クリーンセンターは市内唯一のごみ処理施設です。みなさまのご家庭などから出される燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、有害ごみが搬入され、焼却、破碎・選別処理をしています。武蔵野市民の生活を支えている、全市民にとってなくてはならない施設です。引き続き、ごみ減量をお願いします。

現在のクリーンセンターは昭和 59 年に建設され、稼働から約 30 年が経過しています。機械の耐用年数などの状況から、周辺住民の方々のご理解とご協力をいただき、現施設の東隣に平成 29 年 4 月稼働を目指して、新クリーンセンターの建設工事を安全に進めています。

### 煙突デザインについて



旧煙突デザイン

武蔵野市のごみは、現在のクリーンセンターができるまで、武蔵野市と三鷹市の共同運営による「ふじみ焼却場」（三鷹市新川）で処理されてきました。約 40 年前にふじみ焼却場の近隣住民による反対運動があり、武蔵野市のごみが搬入できなくなってしまったこともあり、武蔵野市内にごみ処理施設をつくることになりました。市民参加による大議論を経て、周辺住民のみなさまのご理解とご協力により、当時市営グラウンドであった現在の地に建設することとなりました。水色と白のストライプの旧煙突デザインは、青空と白い雲をイメージした周辺住民の方々の意見によるものです。新しい煙突も周辺住民の方々と検討を重ねた結果、新工場の建物と一体的に「武蔵野の雑木林」をイメージしたデザインとなります。

### おもちゃの交換会「かえっこ」を開催します！

遊ばなくなったおもちゃと会場にあるおもちゃを交換できます。クリーンセンタークイズに挑戦すると、おもちゃの交換に使えるカエルポイントがもらえます！

日時 3月28日(土) 12:00~14:00  
 会場 コピス吉祥寺 1階 吉祥寺デッキ(屋外)  
 ※ 雨天中止





5月 工事着工 杭打ち 不発弾調査  
 6月 掘削工事スタート 掘削法面に山留施工  
 7月 SMW (遮水壁) 施工  
 8月 かりがこいアート 2次掘削  
 9月 煙突足場設置 アースアンカー打設 (地滑り防止のための地中固定アンカー)  
 10月 煙突タイル撤去 3次掘削  
 11月 4次掘削  
 12月 掘削完了 基礎工事 煙突耐震補強 工事現場見学会  
 1月 地下工事 (配筋・コンクリート打設)  
 2月 ごみピット底盤施工 タワークレーン設置

4~10月 不発弾を調査しました



不発弾調査の様子

クリーンセンターの敷地周辺は戦時中、中島飛行機の工場があり、度々空襲を受けたことから、近くでは過去に不発弾が発見されたことがあるため、1.5m掘削することによって不発弾調査を行いました。今回の工事に関わるエリアでは発見されませんでした。

6~12月 土を掘りました



掘削の様子

新しいクリーンセンターは地上3階地下2階建てです。地下は主に焼却炉などのスペースとなります。全部で4万m<sup>3</sup>ほどの土を掘りました。掘った土は埼玉県秋ヶ瀬のスーパードンプトラックに有効利用しました。

7~10月 SMW (遮水壁) をつくりました



SMW (遮水壁) 施工の様子

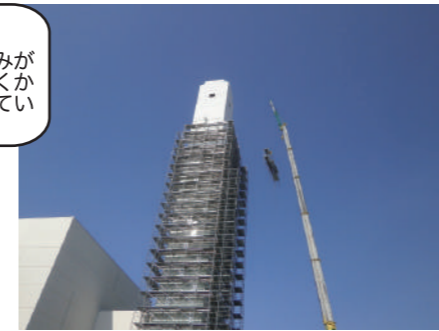
新しいクリーンセンターは地下があり、最も深いごみピットの底は地下20m程度に位置します。地下約11mのところを流れている地下水が溢れてこないように、「SMW (Soil Mixed Wall)」という工法で土とコンクリートを混ぜながら地中にコンクリートの壁をつくって遮水し、地下の深い部分の土を掘りました。

8月 かりがこいアートをつくりました



昨年8月にワークショップを開き、市内在住のアーティスト長谷川仁さんの指揮の下、市内の小学生61名が自分のブランコに乗ったシルエットをカットिंगシートで作り、かりがこいアート「夢ブランコ」を完成させました。平成28年秋頃までの期間限定のアートです。ぜひご覧ください。

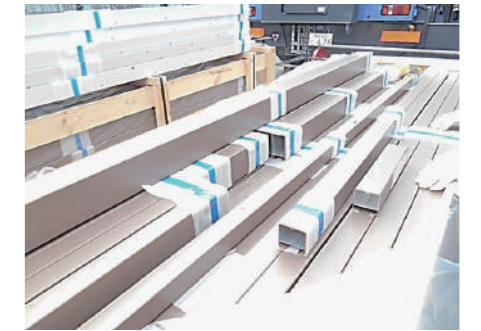
9~3月 煙突工事 (地上部) を行っています



足場設置の様子



炭素繊維シート巻付けの様子



現場内に搬入されたルーバー

煙突に足場をつくり、表面を削って、躯体に「炭素繊維シート」という耐震強度を強くするシートを巻き付けました。その上に塗装し、ルーバー (棒状の材料) を設置していきます。

12月 工事現場見学会を開催しました

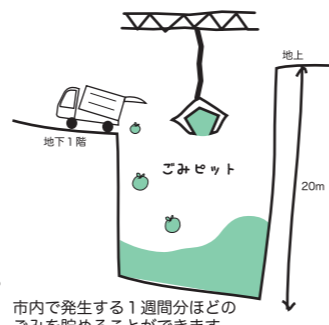


見学会の様子

昨年12月に開催したごみとアートのイベント「武蔵野クリーンセンター x TERATOTERA クリーンセンターとあそぶ」の中で工事現場見学会を開催しました。今回は地下の掘削工事の様子をご案内し、100名を超える方にご見学いただきました。来年度も見学会を開催予定です。ぜひご参加ください。

2月 ごみピットの底ができました

新クリーンセンターの最も深い部分となるごみピットをつくりはじめています。ここは、燃やすごみを焼却炉に投入する前に一時的に貯めるところです。その大半が地下に位置します。底のコンクリートの厚さは2m以上あります。基礎も兼ねた厚い底盤です。



**ごみピットのみめ知識 !!!**  
 燃えるごみには燃えやすいごみと燃えにくいごみがあるので、一度ピットに貯めて、クレーンでよくかきまぜてから、焼却炉に入れて効率よく燃やしています。



建設中のごみピット

2月~ タワークレーンが動いています



タワークレーンはごみピットの底に据え付けられています。タワークレーンは、地下深いごみピット近くへ工事用の荷物を運ぶ仮設のものです。タワークレーンの稼働は6月末までを予定しています。最大で高さ64mまで伸びるため、飛行機が接触しないよう航空障害灯を設置しています。

騒音・振動などを測定しています



工事現場内に、騒音計・振動計を設置し測定しています。法規制を遵守するだけでなく、なるべく、周辺の方々の迷惑にならないよう、低騒音・低振動型の機械を使うなど配慮しています。

騒音・振動計